

包装タイムス

2017年6月12日付

クラウン・パッケージ

FSC 認証を強化

東京五輪に向け展開加速

クラウン・パッケージ（本社＝愛知県小牧市、☎0568・76・4527）は、同社が提供する美粧段ボール用カラー素材全品種で森林認証制度「FSC 認証」を完了させ、6月21日から提供を開始する。

FSC 認証を取得したのは、植林木を原料にした環境配慮型原紙「エフカラー」（全52色）と色ライナ（全29色）、ソフトカラー（全12色）。6月21日から23日までアクセスサッポロで開かれる「17札幌パック」で正式に販売を開始する。また、食品容器用機能素材、一般段ボール原紙（中芯含む）、コートボールなどはすでにFSC 認証に対応している。同社では2015年11月、全工場でFSC 認証を取得、エフカラー24色をFSC 認証紙として提供を始めた。昨年7月には、エフカラー11色と色ライナ21色をラインアップに追



FSC 認証紙で作られた紙器

の半分の期間でFSC 認証紙化を達成したという。

森林保護の観点から、世界の紙パルプ産業ではFSC 認証への取り組みが進んでいる。16年に開かれたリオ五輪では、森林資源を使用した施設および文具関連商品全てにFSC 認証が義務化された。この流れは、20年の東京五輪でも踏襲される公算が極めて大きく、

国内の製紙各社はFSC 認証への対応に力を入れている。同社の取り組みは、包装産業の立場からこの動きを先取りしたものとして注目される。

エフカラーは豊富なカラーバリエーションと優れた加工適性が評価され、高級和洋菓子紙器で多くの実績を持つ。色ライナは飲料分野、中元・歳暮などの贈答箱、機能紙はコンビニ・ファストフード用食品容器で需要が拡大している。同社は「オリジナル原紙のラインアップを強化することで、小ロットでもFSC 化の対応が容易になった。今後拡大していく五輪向け市場でも積極的に提案したい」と意欲を示す。